

かごしま・人・まち・^{第3回}デザイン賞



【発行者】

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

企画部地域政策課

TEL.099-286-2438 FAX.099-286-5529

土木部都市計画課

TEL.099-286-3678 FAX.099-286-5633

【発行】

平成28年3月



かごしま・人・まち・デザイン賞

知事挨拶



鹿児島県知事
伊藤 祐一郎

本県は、南北約600キロメートルに及ぶ広大な県土を有し、桜島や錦江湾、奄美の島々などの雄大で美しい自然、知覧・出水等の武家屋敷群に見られる地域固有の歴史や文化、人々の暮らしが織り成す、多彩で豊かな景観が育まれてきました。

このような景観は、私たちの暮らしに潤いや活力を与え、郷土に対する誇りや愛着を育むとともに、訪れる人々に地域の魅力を感じさせ、観光や人々の交流の促進に大きな役割を担っています。

こうしたことから、本県の特徴を生かした美しく風格のある景観をつくり、これを将来の世代に引き継いでいくことが求められており、県では、平成19年度に制定した「県景観条例」に基づき、「景観形成基本方針」や「景観形成ガイドライン」、「公共事業景観形成基準」を策定するなど、良好な景観の価値を認識し、県民共通の資産として守り、育て、新たに創出するための様々な施策を進めております。

その一つである「かごしま・人・まち・デザイン賞」は、都市、農山漁村それぞれの特色を生かした、また、空間的な広がりのある本県の個性豊かで良好な景観の形成に、特に貢献された方々を表彰することにより、県民の皆様の景観に対する関心と理解を深め、個性豊かで魅力あふれる景観の形成を促進することを目的としています。

第3回となる今回は、都市デザイン部門4件、景観づくり部門4件を表彰いたしました。受賞された皆様に深く敬意を表します。

県としましては、今後とも、鹿児島らしい景観の形成に取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層の御理解・御協力をお願いいたします。

終わりに、審査に当たっていただいた委員の方々並びに本賞に御応募いただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

委員長総括



審査委員会委員長
国吉 直行

第3回かごしま・人・まち・デザイン賞には、都市デザイン部門40件、景観づくり部門11件、計51件の応募をいただきました。

都市デザイン部門では、大規模なものから小規模なものまで、いろいろなタイプの施設が最終審査の対象となりました。大賞の「奄美野生生物保護センター」は、規模は小さいものの立地地域の風土や周辺の景観と調和したデザインとなっていることが高く評価されました。その他の受賞施設も建物単体のデザインではなく、周辺景観を生かしながら、独自の特徴があるものが選ばれました。

残念ながら、今回、土木構造物が受賞を逃しており、今後、土木分野やいくつかの施設が複合した魅力的な景観が創出されることを期待したいと思います。

景観づくり部門において大賞に選ばれた「里町武家屋敷跡の玉石垣」では、集落の方々により、統一された美しさが保全され、歴史と華のあるユニークな景観を創出するなど、地域の多様な面を表現し、訪れる人々を魅了する景観が形成されていきました。この他にも、県内各地で魅力的な景観を守り、育て、創るといった意欲的な活動が、時間をかけながら、様々な形で進められていることを再認識させていただきました。

今後も本表彰を通じ、県内各地域で特徴ある町並み景観づくりに寄与する質の高いデザインが展開され、また、地域の多彩で豊かな景観を守り育て、創出する地域活動が広がり、鹿児島の新たな魅力形成につながることを期待しています。

*都市デザイナー

1964年鹿児島県立鶴丸高校卒業。1971年早稲田大学建築学科大学院修士課程修了。同年、横浜市役所に入庁、都市デザインチームの設立に参加し、継続して都市デザイン室に所属。40年以上一貫して横浜市の都市デザイン行政に取り組み、現在の個性的な横浜の都市空間を形成してきた。

本表彰の目的

かごしま・人・まち・デザイン賞は県内の良好な景観の形成に特に功績のあった方々を表彰することにより、県民の皆様方の良好な景観の形成に対する認識を高めていただき、個性豊かで魅力あふれる景観の形成を推進することを目的としています。

表彰対象

都市デザイン部門

鹿児島県内において、おおむね5年以内に造られた次のいずれかに該当する施設（建築物、工作物、橋梁、公園又は道路等）又は施設の複合したもの等で、その施設等の所有者、設計者、施工者、その他計画に携わった者としてします。

- (1) 将来の鹿児島の模範となる都市景観やまちなみの創造に寄与しているもの
- (2) 美しくうるおいのある都市景観やまちなみを形成し、又は調和しているもの
- (3) かごしまらしい地形や自然を活かした都市景観やまちなみを形成し、又は調和しているもの
- (4) かごしまらしい歴史・文化を活かした都市景観やまちなみを形成し、又は調和しているもの
- (5) 環境や福祉への配慮等、優れた設計コンセプト等により都市の快適性を向上させているもの
- (6) その他、本県の良好な都市景観やまちなみの形成に寄与しているもの

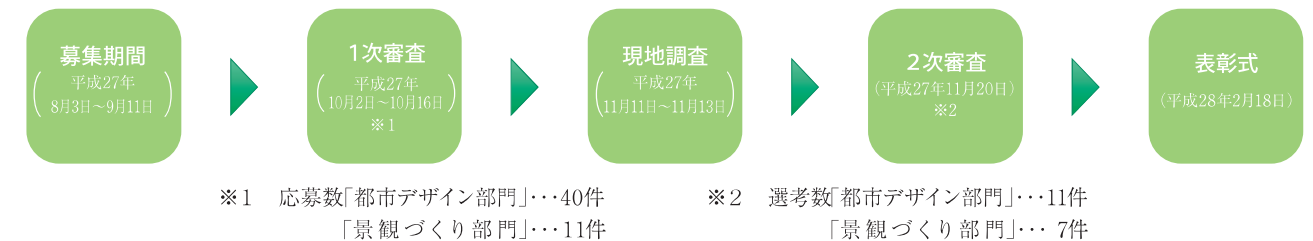
景観づくり部門

鹿児島県内において、次のいずれかに該当する景観で、その景観を守り、育て、また、新たに創出するための活動に取り組んでいる個人又は団体としてします。

- (1) 歴史的風致の維持・向上により、周囲との調和が図られたもの
- (2) 地形や植生を活かすなど、自然環境との調和が図られたもの
- (3) その他、魅力的なまちなみなど、本表彰にふさわしいと認められるもの。ただし、都市デザイン部門に該当するものは除く。

賞

- ・大賞(各部門1件)……特に優れているもの
- ・優秀賞(各部門2件まで)……「大賞」に達しないものの、本県の景観の形成に寄与しているもの
- ・奨励賞(各部門1件)……「優秀賞」に達しないものの、奨励に値するもの



審査委員

- 石田尾 博 夫 ▶ 日本経済大学 教授 (芸術工学, 経済学)
- 梶 原 知 治 ▶ 鹿児島建築まちなみ研究所 所長
- 木 方 十 根 ▶ 鹿児島大学大学院 教授 (建築学専攻)
- 国 吉 直 行 ▶ 横浜市立大学 特別契約教授 (都市デザイン講座)
- 田 中 尚 人 ▶ 熊本大学政策創造研究教育センター 准教授
- 友 清 貴 和 ▶ 鹿児島大学 名誉教授 (建築計画, 地域計画)
- 浜 本 奈 鼓 ▶ NPO 法人くすの木自然館 代表理事
- 東 川 美 和 ▶ NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 事務局長 (五十音順, 敬称略)